

(一般屋内用)

保管用



外観	高光束タイプ	品番		外観	低光束タイプ	品番		
		L900タイプ	L1200タイプ			L900タイプ	L1200タイプ	L1500タイプ
白	昼白色【5000K】	NNFL(H)50900	NNFL(H)51200	白	昼白色【5000K】	NNFL(H)40900	NNFL(H)41200	NNFL(H)41500
	白色【4000K】	NNFL(H)50901	NNFL(H)51201		白色【4000K】	NNFL(H)40901	NNFL(H)41201	NNFL(H)41501
	温白色【3500K】	NNFL(H)50902	NNFL(H)51202		温白色【3500K】	NNFL(H)40902	NNFL(H)41202	NNFL(H)41502
	電球色【3000K】	NNFL(H)50903	NNFL(H)51203		電球色【3000K】	NNFL(H)40903	NNFL(H)41203	NNFL(H)41503
黒	昼白色【5000K】	NNFL(H)50910	NNFL(H)51210	黒	昼白色【5000K】	NNFL(H)40910	NNFL(H)41210	NNFL(H)41510
	白色【4000K】	NNFL(H)50911	NNFL(H)51211		白色【4000K】	NNFL(H)40911	NNFL(H)41211	NNFL(H)41511
	温白色【3500K】	NNFL(H)50912	NNFL(H)51212		温白色【3500K】	NNFL(H)40912	NNFL(H)41212	NNFL(H)41512
	電球色【3000K】	NNFL(H)50913	NNFL(H)51213		電球色【3000K】	NNFL(H)40913	NNFL(H)41213	NNFL(H)41513

#### オプション

レースウェイ取付金具 NNFK95400

・上記( )内は加工品番です。以降、加工品番の記載を省略します。  
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**施工説明** 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

### 安全に関するご注意

#### 警告

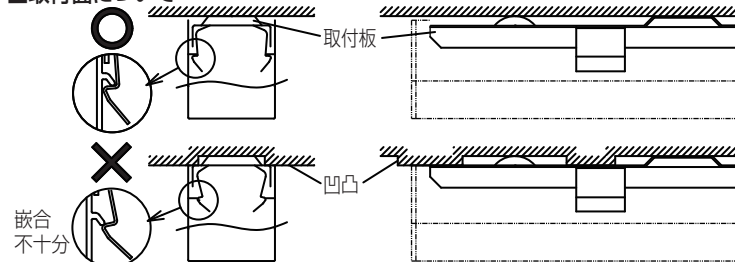
- 施工は、施工説明にしたがい**確実に**行う。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- カバーに衝撃を与えない。破損した場合、感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。  
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 天井、壁面(横向きのみ)・据置き取付専用器具です。  
指定外の取り付けはしない。落下の原因となります。



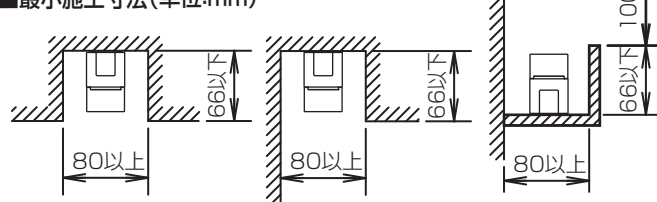
#### 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所、粉塵の発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以内で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや耐用年限が短くなる原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。(一部の食品や薬品・紙類また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。)光学性能に影響を与える場合があります。
- 電源送りの際、電源回路に7A(断熱天井時4A)を超える電流を流して使用しないでください。過熱による火災の原因となります。
- 器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- 最小施工寸法(右下図)より大きい寸法で施工してください。落下・火災の原因となります。
- 取付板は、段差や障害物などの凹凸のない平坦な面に取り付けてください。(下図「取付面について」を参照)  
本体取付時に嵌合が不十分となり、本体が外れるおそれがあります。

#### ■取付面について



#### ■最小施工寸法(単位:mm)



#### 施工上のご注意

- ・本体の取り付けには方向性があります。取付板と本体のコネクタのある向きを合わせて取り付けてください。
- ・コネクタ接続は、必ず電源を切ってから行ってください。LEDユニットの故障・耐用年限が短くなる原因となります。  
万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路(発振停止機能)によりLEDユニットは点灯しません。
- ・適合コントロールは当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。
- ・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。  
※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。  
ライトコントロールの定格容量とLED器具の定格を事前に確認してください。
- ・電源線の引込みは電源線用穴(入力用)、送りは電源線用穴(送り用)を使用してください。1ヶ所の穴をご使用の場合、器具内で電線を納めにくくなるおそれがあります。調光信号線は、1ヶ所の穴から入力用、送り用の電線の引込みができます。
- ・電源線の引込み穴は余分な電源線を天井裏に押し込むため、天井裏には障害物がないようにしてください。
- ・騒音(うなり)が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行ってください。
  - ・三相電源を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。
  - ・電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側(充電側)に取り付けてください。
- 結線について
  - ・コントロールの結線はコントロールの説明書をご確認ください。
  - ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。

# 各部のなまえと取付方法

◎図はL1200タイプ・ボルト取付の例で説明しています。

## 警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。  
 施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。  
 灯具の取り付け・取り外しは必ず電源を切る。

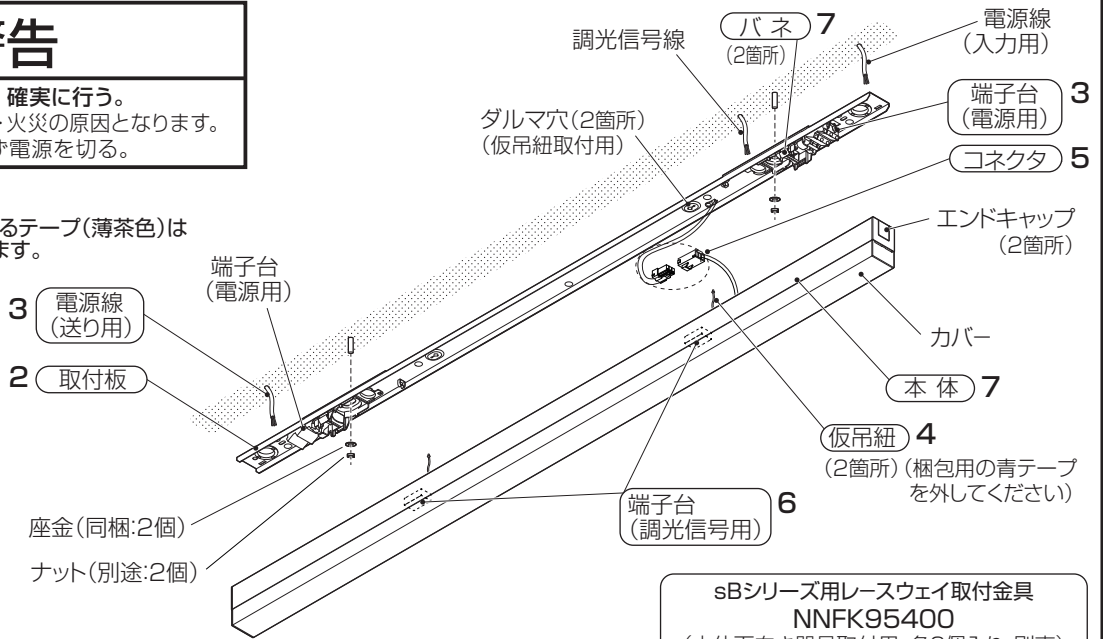
### ご注意

本体・取付板の内側に貼られているテープ(薄茶色)は器具内でケーブルを固定しています。取り外さないでください。

**同梱品**

**座金** (2個) ◎取付板の取り付けに使用します。

**連結補助具** ◎器具を長手方向に連結する場合に使用します。

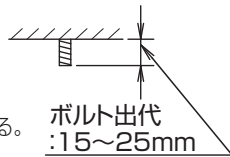


sBシリーズ用レースウェイ取付金具  
**NNFK95400**  
 (本体下向き器具取付用、各2個入り、別売)

取付金具 取付補助金具

## 1 取付前の確認

- ・既設器具取替えの場合、周辺機器の電気容量を確認する。(直付けの場合)
- ・器具質量 (1.8kg:L1500タイプの場合)に十分に耐えるよう、取付ボルトまたは、木ネジ取付部(ネジ掛かりしろ)の強度を確保する。(取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する。)
- ・取付ボルトの天井面からの出度は、15~25mmとしてください。不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

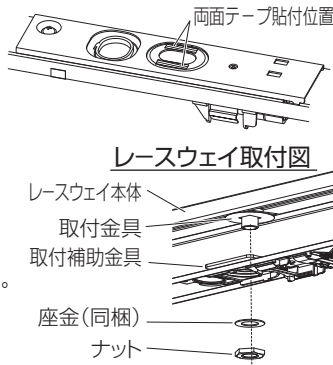


### (ロックウール等のやわらかい天井材に直付けの場合)

- ・上記の(直付けの場合)を確保する。
- ・天井材の取付ボルト貫通穴が大きい場合、取付板のボルト締め付け箇所が天井に食い込んで、本体の嵌合が不十分となり、外れる原因となります。(天井材の取付ボルト貫通穴推奨値 φ20mm)
- ・不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

### (開口部下向きのレースウェイ本体の場合)

- ・取付金具をレースウェイ本体に取り付ける。(2ヶ所)
- ・取付補助金具の両面テープが取付板の右図位置に合うように、取付補助金具を取付板に貼り付ける。
- ・取付板を右の取付図のように取り付ける。不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。



**<連結の場合>**  
 取付板端の連結補助具穴に連結補助具(同梱)をはめ込んでください。

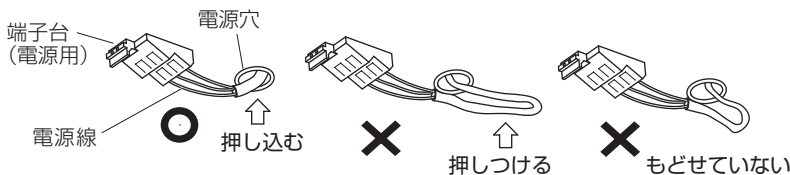
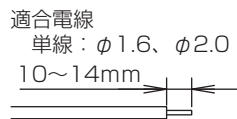
連結補助具(同梱) 連結補助具穴

## 2 取付板の取付

- ・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・取付板を取付ボルト(同梱の座金を使用)または、木ネジで確実に取り付け。
- ・ロックウール等のやわらかい天井に取り付けの際は、取付ボルトの締めすぎにご注意ください。取付ボルト推奨トルク値より強く締めた場合、取付板のボルト締め付け箇所が天井に食い込んで本体の嵌合が不十分となり、外れる原因となります。(取付ボルト推奨トルク値 1.5N・m)(木ネジは丸木ネジの呼び4.1~4.5を使用する。)
- ・不備があると器具落下の原因となります。

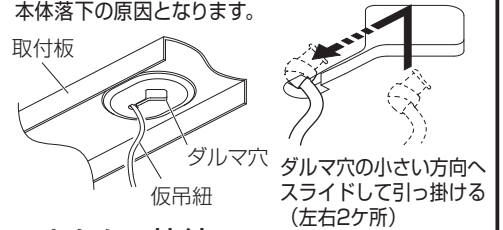
## 3 電源線・アース線の接続

- ・電源線、アース線を確実に差し込む。
- ・D種(第3種)接地工事が必要。
- ・端子台(電源用)の最大送り容量は7Aです。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。
- ・送り配線する場合は入力とは反対側の端子台を使用してください。
- ・電源線接続後、余分な電源線は本体との当たりを防ぐため電源穴へ押し込んで、処理すること。不備があると本体の取り付けができず本体の落下の原因となります。



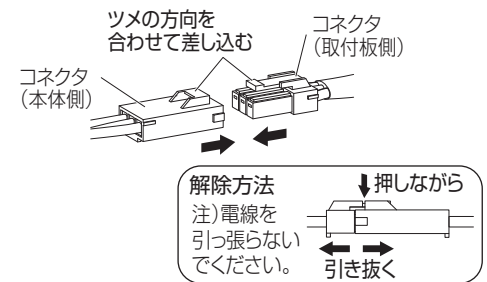
## 4 仮吊紐の取付

- ・仮吊紐を取付板のダルマ穴に引っ掛ける。(2ヶ所) 取り付けが不完全な場合、取り付けをしなかった場合、本体落下の原因となります。



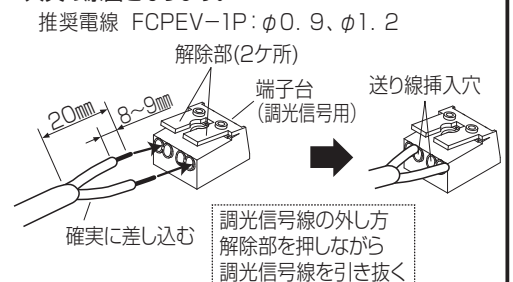
## 5 コネクタの接続

- ・コネクタを接続する。「カチッ」と音がするまで嵌め込んでください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。



## 6 調光信号線の接続

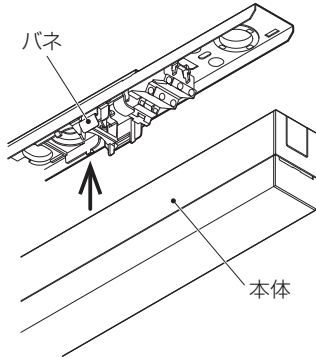
- ・下図のように端子台(調光信号用)に接続する。
- ・調光信号線を確実に差し込む。調光信号線に極性はありません。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。



## 各部のなまえと取付方法 (続き)

### 7 本体の取付

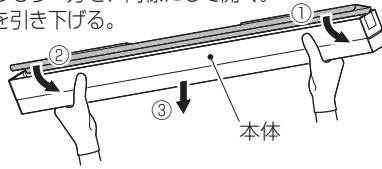
- ・本体の取り付けは、取付板のバネ (左右2ヶ所) に本体をセットし押し上げる。
- ・取り付け後、本体を軽く引き下げ確実に取り付けられていることを確認してください。
- ・電線などは確実に収納してください。本体の取り付けが不完全なるおそれがあります。
- ・取り付けが不完全な場合、本体、灯具落下の原因となります。



#### 本体を取り外す場合

- ・本体は工具等でこじ開けないでください。
- ・本体破損の原因となります。

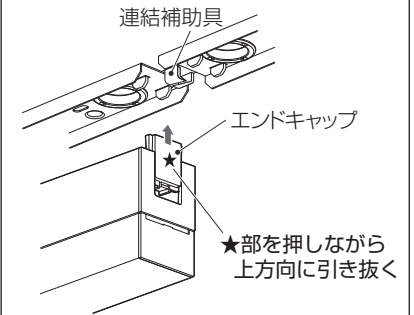
- ①片手で本体の一方を、回転させるようにして開く。
- ②本体のもう一方を、同様にして開く。
- ③本体を引き下げる。



この後コネクタを外し、仮吊紐を本体から外してください。

#### <連結の場合>

- ・器具間のエンドキャップを外してください。
- ・(エンドキャップを外さないとお体の取り付けができません。)



### <器具内送り配線をする場合>

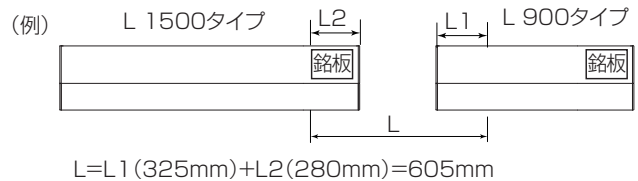
- ・連結する器具タイプの組み合わせに適した長さの電線を準備する。

	適合電線	電線長
【電源線・アース線】	推奨電線 単線 : $\phi 1.6$ $\phi 2.0$	270mm 10~14mm(両端)
	推奨電線 FCPEV-1P: $\phi 0.9$ $\phi 1.2$	$L=L1+L2$ 8~9mm(両端)

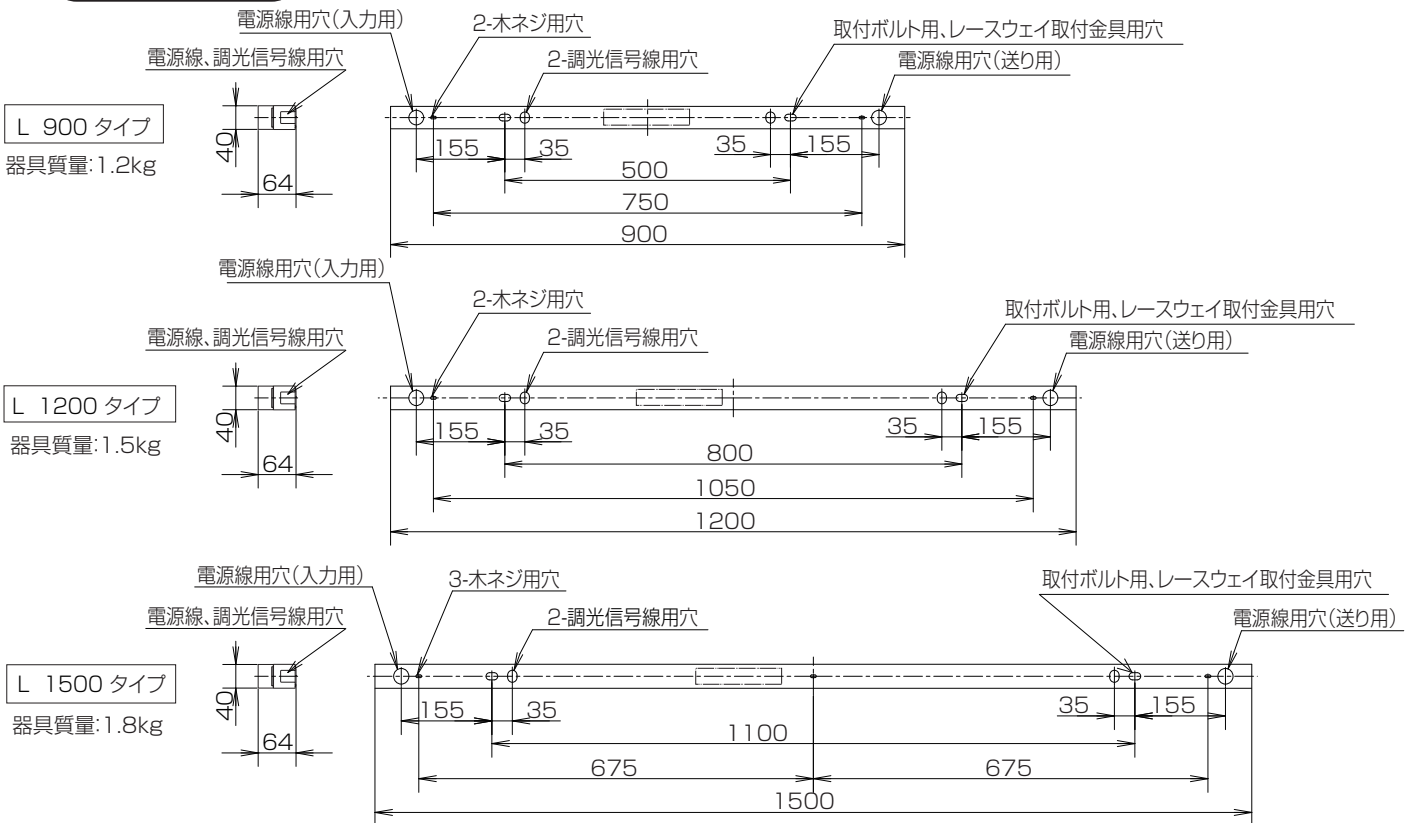
- ・調光信号線の電線長設定について

タイプ	L1	L2
L 900	325mm	275mm
L 1200	340mm	340mm
L 1500	340mm	280mm

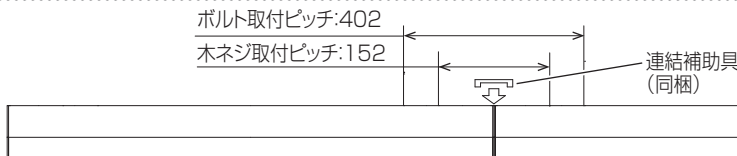
- ・連結する器具タイプ、向きにより長さが異なります



## 器具寸法図



#### <連結の場合>



## 取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

### 注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には耐用年限があります。設置して10年<sup>(※1)</sup>経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。LED光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。  
※1:使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店などの専門家による点検を受けてください。(チェックシート番号:CLX2021HA) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- ・点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下などに至る場合があります。

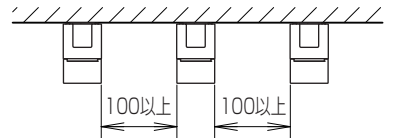
■LED照明器具の光束維持時間は、40,000時間(光束維持率85%)です。

### 使用上のご注意

- ・光源として高輝度LEDを使用しています。光源部を長時間直視しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機などの誘導無線を使用される場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
- ・LED素子にはばらつきがあるため、同一商品でも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・点灯直後・消灯直後などの温度変化によって、プラスチックの伸縮によるさしきみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。静かな環境や密集取り付けでご使用の場合、さしきみ音が気になる場合があります。
- ・虫の飛来が多い場所で使用される場合、まれにカバー内に虫が侵入するおそれがあります。
- ・密集取り付けしないでください。(右図参照) 過熱による故障の原因となります。

#### 調光で使用する場合

- ・光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。
- ・コントロールと組み合わせて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
  - ・同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
  - ・低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
  - ・調光した状態でコントロールの点滅スイッチをすばやく操作した場合、100%点灯してから設定の調光状態になる場合があります。



### 保証について

- ・保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。ただし、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

### お手入れについて

- ・器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。



- お手入れ時は、必ず電源を切ってください。感電のおそれあり。
- 本体のカバーは樹脂製です。取り扱いに注意してください。カバー破損のおそれあり。
- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺をさわらないこと。やけどのおそれあり。

### ■定格

高光束タイプ(LR)	L900タイプ			L1200タイプ		
	定格電圧	入力電流	消費電力	定格電圧	入力電流	消費電力
	AC100V	0.240A	23.0W	AC100V	0.310A	30.6W
	AC200V	0.120A	23.0W	AC200V	0.155A	30.6W
	AC242V	0.100A	23.0W	AC242V	0.128A	30.6W

### ■リサイクル

照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

低光束タイプ(LR)	L900タイプ			L1200タイプ			L1500タイプ		
	定格電圧	入力電流	消費電力	定格電圧	入力電流	消費電力	定格電圧	入力電流	消費電力
	AC100V	0.170A	16.6W	AC100V	0.220A	21.7W	AC100V	0.270A	26.8W
	AC200V	0.085A	16.6W	AC200V	0.110A	21.7W	AC200V	0.135A	26.8W
	AC242V	0.074A	16.6W	AC242V	0.095A	21.7W	AC242V	0.112A	26.8W

パナソニック エレクトリックワークス株式会社 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土/9:00～18:00(祝日・三が日を除く)※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX)